

風車搬器

適用

OPGW(Composite Fiber Optic Wire: 光ファイバ複合架空地線)時にOPGWを搬送する状態で延線し、低張力で回転を制御できるため、光ファイバのダメージを小さく抑える事ができる
東京電力と藤井電工との共同研究で、昭和60年に実用化された工法で反転式、非反転式の2工法がある

反転工法 : 既設地線(支持線)に吊架した風車型搬器に直接OPGWを乗せて搬送するもので、
延線終了後、搬器を反転させ、新旧の地線を交換する工法

非反転工法 : 予め延線したワイヤを支持線とし、その支持線に吊架された風車型搬器に更に四面ローラを吊るし
延線終了後、搬器を反転させ、新旧の地線を交換する工法

品種番号	30-01-002, 005
仕様	2型 3型
メーカー	藤井電工

2型



3型



特記事項

2型は反転方式と非反転方式兼用

3型は反転方式専用

種類	連結ロープ (mm)	適用OPGW (mm ²)	定格荷重 (kgf)	全長 (mm)	全高 (mm)	全幅 (mm)	重量 (kg)	品種番号	システムコード
2型	φ14	170~290	800	270	366	230	7.4	30-01-002	30-900-100-10
3型	φ10	55~90	500	190	250	176	2.8	30-01-005	30-900-100-30